

平成 31 年度(令和元年度) 自己点検自己評価報告書

(学校による自己点検・自己評価)

学校法人 順正学園

九州保健福祉大学総合医療専門学校

1. 学校の教育目標

本校は教育基本法及び学校教育法並びに保健師助産師看護師法の本旨に則り、高度な専門的知識・技能及び幅広い教養を兼備した優秀な看護師を養成し、地域の保健医療の発展、向上に寄与することを目的としています。

2. 平成 31 年度に定めた重点的に取り組むべき目標と結果報告

【看護学科の目標】

(1) 看護学科

【看護学科の目標】

- ①全国模試で上位の成績を維持し、看護師国家試験合格 100%を維持する。
- ②学生の就学上困難な徴候を見逃さず、早急に対応することで退学者を減少させる。
- ③講義・実習ともに教員の指導能力の向上を図る。
- ④事務室と連携し入学定員充足率 100%以上を維持する。

【具体的な手立て】

- ①全国模試で上位の成績を維持し、看護師国家試験合格 100%を維持する。
 - 1) 各学年運営の指導計画を立案し、段階的に主体的に知識が習得できる具体的な方法を示す。
 - 2) 教員一人一人が国家試験の出題傾向を踏まえた講義、実習指導を実践する。
 - 3) 成績不振の学生の学習状況、生活状況などの原因を分析し時宜を逸せず担任やチューターなどが面談し解決策を検討する。
 - 4) 臨地実習において、自分で思考し実践、評価修正していく力を引出すとともに、講義を想起させ知識の定着を図る。
 - 5) 臨地実習では指導者と協力し、学生にとって効果的に学ぶことができる環境を整え、看護の魅力を体感できるよう関わる。

⇒学年ごとに指導案を立案し、教員一人一人が国家試験を考慮した実習指導、講義実践した。模擬試験の学校偏差値は概ね 50 以上を維持したが、偏差値は 40 未満の学生もおり、個別に対応し成績向上を図り、全員合格でき合格率 100%を維持できた。
- ②学生の就学上困難な徴候を見逃さず、早急に対応することで退学者を減少させる。
 - 1) 学生の心身の変化を見逃さず対策を講じ、適切に介入できる教員が関わり、本人や保護者を交えて面談し解決策を検討する。
 - 2) 入学時より看護に魅力を感じ、看護師の資格取得に意欲が高まるように講義や実習を通し関わる。
 - 3) 入学後の学習の不安や成績不振を改善するため、入学前教育の導入を検討する
 - 4) 学年を越えた行事やイベントを企画し、学生同士が交流できる場を増やす。

→教員間で学生の情報交換をすることにより状況を把握し、成績やメンタル面、生活面などで気になる学生には適宜、本人及び保護者を交えて面談し早期の問題解決に努めた。また、学校生活に不安を抱かず、魅力を感じられるよう、学年を超えた交流を実施した。結果、退学者は昨年度より 72.2% (11 名から 3 名) 減少した。

③講義・実習ともに教員の指導能力の向上を図る。

- 1) 領域や専門分野を超えて学生の効果的な学習方法を勘案し、教育内容の精選・充実を図る。
- 2) 学生の主体性、満足度、理解力を引き上げるために、教育方法などについて外部研修を受講し、学内で共有し教員全体の教育力向上を目指す。
- 3) 臨地実習での指導状況の情報共有をし、学生にとって効果的な指導を検討し、教育の質の向上を図る。

→講義や実習での指導状況を教員間で共有するとともに、教育内容や教育方法などを相談しやすい環境を整えた。また、教員各自が自発的かつ計画的に研修会やセミナーに参加し、終了後は復命書や資料を回覧し、知識を共有することにより、看護学科全体としての教育力の向上を図り学生に還元できるよう各自が工夫した。

④事務室と連携し入学定員充足率100%以上を維持する。

- 1) 県内の高校生及び実習施設に本校の特色を理解していただくため、事務室と連携し、学校紹介に繋がる行事やイベントに参加しPRする。
- 2) 実習施設と連携を密にし、実習生だけでなく就職している卒業生の情報収集をし、適宜、指導、改善を図る。
- 3) 看護師として人として、地域の中で求められる人材を送り出すことで、本校の社会的評価や信頼度を高め、受験希望者の増加に繋げていく。

→入学定員の維持に繋がるよう、事務室と連携しオープンスクールや学校紹介に関する行事やイベントには参加し積極的にPRを行ったが、入学者50名（充足率83.3%）と開校来初めて定員を満たすことができなかった。

3. 評価項目の達成状況及び取り組み目標や計画について

*自己評価点は以下のとおりである。

適切・・・4、 ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、 不適切・・・1

(1)教育理念・目標

	評価項目	自己点検
1	学校の理念・目標・育成人材像は定められているか	4
2	学校における職業教育その他の教育指導等の特色は定められているか	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目標・育成人材像・特色将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

学校ホームページの「情報公開」のページを充実させ、同ページに建学の理念、教育目標、ディプロマポリシー(卒業認定)、シラバスなどを公開した。学生及び保護者に学校ホームページを確認していただくよう働きかけている。

(2)学校運営

	評 価 項 目	自己点検
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか。有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他
達成している。

(3)教育活動

	評 価 項 目	自己点検
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実践されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習)が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位評価、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保しているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

①課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

研究費を有効活用し研修への参加を奨励しており、専任教員は積極的に研修等に参加している。実習指導教員にも学びを奨励しており、通信制大学に編入学するなど自己研鑽に励む者もいる。学科としても実習指導教員が学習を継続できるよう支援している。

(4)学修成果

	評価項目	自己点検
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の軽減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

就職率及び看護師国家試験合格率は連続して100%である。退学者は一昨年12人から4人(看護学科は3人)に減少した。宮崎県内就職率年々上昇傾向にあり、当年度は64.7%だった。在校生は卒業生の社会的な活躍について実習を通じて知る機会を得ることで、将来への展望が描けている。学生の進学・就職に関する情報を「就職ガイダンス」を通して提供している。学生一人ひとりにあったキャリア形成支援はチューターが卒業まで責任をもって指導している。

(5)学生支援

	評価項目	自己点検
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制派整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

就職支援体制は十分に機能している。保護者との連携ができている。高校生以下を対象とするワーキングスタディ等に積極的に参加した。

(6)教育環境

	評価項目	自己点検
1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3

① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

施設設備は十分に整備している。

実習施設と良好な関係を築けており、良い教育ができています。実習施設皆様の協力に感謝しています。

本年度は消防署と連携して通報訓練及び防災訓練を実施した。訓練日が新型コロナウイルス感染症による自粛期間と重なったため、学生の参加は1学年にとどまった。

(7)学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検
1	学生募集活動は適正に行われているか	4
2	学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	3
3	学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

学生募集活動に精力的に取り組んだが、開学来初めて入学者数が入学定員を割りこんでしまった。入試や広報に関する反省はもちろん、試験そのものの改善に取り組み、入学定員を確保したい。

(8)財務

	評価項目	自己点検
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備は適正に行われているか	4

① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

財務等諸手続きは適正に執行されており、財務情報は本校のホームページから簡単に見ることができるように公開の方法を改善した。

(9)法令等の遵守

	評価項目	自己点検
1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関しその保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価を公開しているか	4

- ① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他
課題はほぼ達成している。

(10)社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	自己点検
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2	学生のボランティア活動を奨励しているか	4
3	地域に関する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

- ① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

当年度、学校外の組織から施設貸与等の要望がなかったが、高校や専修学校各種学校連合会等からの講義等の依頼には積極的に応えている。
学生のボランティア活動を奨励している。